

# 大府市自立支援協議会研修会

## 「日々の業務とSDGs～大府市における持続可能な福祉施設とは?～」報告書

### 1. 事前準備について

【ファシリテーター向け事前研修】

- ・日時:令和6年1月10日(水) 10:00~12:00
- ・場所:神田公民館
- ・講師:社会福祉法人憩の郷・自立支援協議会研修委員 杉原 直樹氏
- ・内容:研修当日ファシリテーターを務める7名に向けた事前研修を実施  
1.ファシリテーションの意義・役割 2.ファシリテーションの技術  
3.進行上のポイント 4.1/17を想定したロールプレイ 5.まとめ

### 2. 実施状況

- 日 時:令和6年1月17日(水)13:30~16:00
- 場 所:大府市役所地下多目的ホール
- 実施方法:集合形態
- 出席者 :30名

### 3. 研修の流れ

- ・開催の挨拶
- ・講義①SDGsとは
- ・講義②グループワークについて
- ・グループワーク「6年後(2030年)の大府市における持続可能な福祉施設とは?」
- ・発表
- ・閉会挨拶、講評、事務局より連絡

### 4. 講義①「SDGsについて～至学館大学での取り組みを踏まえて～」

講師: 至学館大学 人間力開発センター 活動企画コーディネーター  
佐藤 匠 氏

【講義内容】

至学館大学の教育理念→SDGsについて→至学館大学の取り組み→後半ワークへのつなぎ

<教育理念>

- ・「人間力の形成」人が生きていく上で必要な力、社会人基礎力を身につける。

<SDGsについて>

- ・SDGsのアイコンについての説明(人間のゴール1~6、繁栄のゴール7~11、地球のゴール12~15、平和のゴール16、パートナーシップのゴール17)
- ・現状と理想の差を計算して手立てを検討する。ゴールを設定して、ターゲットを考えていく。(バックキャストイング)

## 5. グループワーク

テーマ「6年後(2030年)の大都市における持続可能な福祉施設とは？」

### <グループワーク①身の回りの現状・課題>

- ・1グループ6名~7名で、グループワークを行う。
- ・1人ずつポストイットに意見を記入し、模造紙に貼りながら、同じ意見事にまとめていく。

### <グループワーク②将来(6年後)のありたい姿>

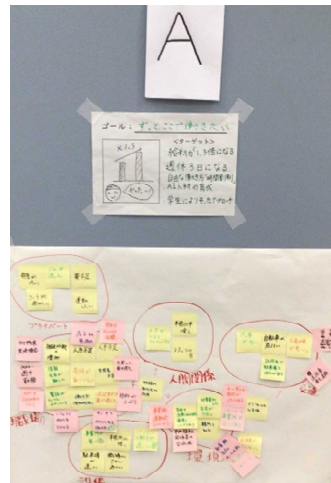
- ・現状・課題に対して、将来「こうなっているといいな」と思うことを挙げていく。
- ※実現可能性は無視すること。根本的な事を問題にしないこと。

### <グループワーク③ゴール&ターゲット作成>

- ・ゴール≒ワーク②、メインで考えるのはターゲットについて。
- ・どんなことをするとゴールが実現できるか?取組、活動を挙げていく。
- ・アイコンの作成を行っていく。

### <グループワーク④発表>

- ・1グループ3分程度で報告する。(ゴール、ターゲット、アイコンの説明と理由)
- ・記入した用紙をスクリーンに映写しながら、発表する。
- ・A~Eグループすべての成果物を会場の後方に貼り出す。



## 6. アンケート結果

### ●研修の感想

- ・理想の未来を創造してそこから逆算していくという考え方、とても分かりやすい説明でグループワークも色々な意見が出て楽しい時間だった。
- ・普段の業務の中で持続可能について考える機会は少なかったが、福祉は持続していかなければならない職種であり、続いていくために何をすべきか考えるきっかけになった。
- ・事業所内でゴール・ターゲット作成をしたらまた違った意見がでて面白いのではないかと感じた。
- ・バックカastingで考えること、日頃中々できない現状なので必要なことだと感じた。
- ・理想から逆算していくと自由な発想が生まれて行くんだなとワークを実践して感じた。
- ・理想を描きながら働ける職場環境を目指したい。
- ・理想を話す中で少しでも課題解決につながり、いきいきと働けるといいと思う。
- ・他事業所の方々と交流できる貴重な機会となった。
- ・どこの事業所も課題に感じていることは同じようなことだと知る機会になった。

### ●ファシリテーターを行った感想・意見等

- ・多種多様な意見をどうまとめゴールに落とし込んでいくのか、うまくできなかった。
- ・ファシリテーターは初めて経験しましたが、周りの様子を見つつ進めることに難しさを感じた。
- ・練習として取り組んだ時は当日うまくいか不安でしたが、同じグループのファシリテーターの方と協力して進めることができ安心した。参加者も意見を出していただけたので楽しくグループワークを進められた。
- ・難しかったが、良い経験になって良かった。